

植物科学シンポジウム

グリーンイノベーションに向けた 新たな植物科学

食糧・エネルギー・有用物質生産・環境問題への貢献



食糧

food



エネルギー

energy



有用物質

useful material



環境

environment

日時

2010年12月1日(水)
10:00~18:00(開場9:30)

会場

コクヨホール
(品川駅港南口駅前徒歩2分)

〈シンポジウム専用ホームページ〉

<http://www.kuba.co.jp/plant-science/2010/>

【申し込み方法】シンポジウム専用ホームページ上のフォームをご利用ください。参加証等の発送はいたしませんので、当日は直接会場へお越しください(参加費無料)。

【懇親会】18:00から懇親会(会費制:6000円)を開催致します。懇親会参加については本ホームページの申込フォームからお申込み下さい。会費は当日受付にて頂戴致します。

【主催者】独立行政法人理化学研究所 植物科学研究センター 独立行政法人農業生物資源研究所 大学植物科学研究者ネットワーク 独立行政法人産業技術総合研究所

お問い合わせ

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15 UEDAビル6F
株)クパプロ内 植物科学シンポジウム事務局
TEL:03-3238-1689 FAX:03-3238-1837 E-mail:symposium@kuba.jp

総合司会:白須 賢、榊原 均(理化学研究所植物科学研究センターグループディレクター)

10:00-10:05 開会の辞 篠崎 一雄(理化学研究所植物科学研究センター長)

10:05-10:15 ご挨拶 戸渡 速志(文部科学省審議官)

最先端研究基盤整備に関する紹介

10:15-10:55 篠崎 一雄(理化学研究所植物科学研究センター) + 主要拠点代表

「低炭素社会実現に向けた植物研究推進のための基盤整備と研究支援」

10:55-11:05 松本 隆(農業生物資源研究所)

「農業生物資源研究所のゲノム解析研究支援基盤の構築一次世代ゲノム配列解析へ向けて」

研究発表(1) 若手研究者からのグリーンイノベーションへの提案

11:05-11:20 西澤 洋子(農業生物資源研究所)

「イネの持続的病害抵抗性の増強を目指した宿主-病原菌相互作用の研究」

11:20-11:35 三浦 孝太郎(福井県立大学)

「イネの生産性の飛躍的向上を目指した新規有用遺伝子の単離と分子育種の利用」

11:35-11:50 宗景 ゆり(奈良先端科学技術大学院大学)

「C4型光合成植物の進化過程からC4型化誘導のカギを探る」

研究発表(2) 植物科学からのグリーンイノベーションへの発信

13:10-13:35 東山 哲也(名古屋大学)

「植物生殖における細胞間シグナリングと細胞操作育種への展望」

13:35-14:00 福岡 修一(農業生物資源研究所)

「自然変異の遺伝学的解剖によるもち病耐性遺伝子の発見と利用」

14:00-14:25 福澤 秀哉(京都大学)

「微細藻類のCO₂濃縮と物質生産」

14:25-14:50 上口(田中) 美弥子(名古屋大学)

「植物ホルモン・ジベレリンを利用した高バイオマス作物の作出」

研究発表(3) グリーンイノベーションにおける産業応用へ向けて

15:15-15:35 井藤賀 操(理化学研究所)

「コケ植物を活かした金属資源回収・水環境浄化研究」

15:35-15:55 松村 健(産業技術総合研究所)

「植物工場での遺伝子組換え植物の産業応用」

各省庁の取り組み「グリーンイノベーションに向けた植物科学研究から応用展開の各省担当部局の取り組み」

16:00-16:15 釜井 宏行(文部科学省研究振興局ライフサイエンス課長補佐)

16:15-16:30 田口 康(文部科学省研究開発局環境エネルギー課長)

16:30-16:45 小平 均(農林水産省農林水産技術会議事務局研究開発官)

16:45-17:00 藤森 一浩(経済産業省製造産業局生物化学産業課長補佐)

パネル討論

17:05-17:45 司会:藤原 徹(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

出村 拓(奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス科教授)

17:45-17:50 閉会の辞 石毛 光雄 農業生物資源研究所理事長